

ベストプラクティス2018(平成31年1月25日:高松市)

▶音声システムを活用した  
口頭指導の実施について

西置賜行政組合消防本部

大津 秀二

公立置賜総合病院

救命救急センター長 佐藤 光弥

▶ 現在当消防本部では、心肺停止通報に対し以下の音声システムを活用した口頭指導を実施している。

## 【音声システム】

胸骨圧迫リズム音

自動音声ガイダンス

平成29年8月1日から高機能消防指令センターに「自動音声ガイダンス」導入。

- ▶ 心肺停止通報時の口頭指導の標準化を目的に「伝える内容の統一化」を図るため、口頭指導支援ツールとして自動音声ガイダンスを作成。

## 口頭指導の標準化

通信指令員の口頭指導の標準化

バイスタンダーの知識・  
受講歴に委ねない口頭指導



安定した口頭指導の実現

# 音声ガイダンス



# 自動音声ガイダンス使用判断の基準

① バイスタンダーが複数いる場合

② 胸骨圧迫リズム音に合わせてCPRを行っている様子が確認できた場合

③ 通信指令員の指示に従命できている場合



# 救急講習及び各種イベントでの普及活動



模擬指令台

救急隊との  
合同想定訓練



# 口頭指導の事後検証について

- ▶ 山形県救急業務高度化推進協議会では「通信指令員に対する救急に係る教育・指導・検証のあり方」を検討している。

通信指令員が行う口頭指導の事後検証体制の構築



口頭指導レポートによる評価

指令業務指導者と救急技術指導者による通報内容の評価

通信指令員の教育システムWGと  
MC医師による評価フィードバック

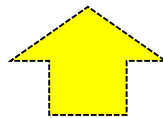
▶ 当消防本部では、通信指令員の《口頭指導の標準化》と《同一レベルの口頭指導》に取り組んできた。

通信指令員が行う口頭指導の事後検証体制の構築



口頭指導レポートによる評価

口頭指導事後事例検討会



指令業務指導者と救急技術指導者による通報内容の評価

MC医師による評価とフィードバック



行政サービスの均一化  
(音声システムによる口頭指導の標準化)

指令業務のオープン化  
(安心して通報できる環境の整備)



ハード面・ソフト面の充実

事後検証の確立



バイスタンダーCPRの実施率・  
救命率の向上

ご清聴ありがとうございました。